

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

ご来場いただき
ありがとうございました

第15回 2018 Lighting Bell in NOTOGAWA

～ 地域に支えられ 小さな光が 大きな輝きに ～

■ 日時：平成30年12月15日(土)～12月24日(月・振休) 17:30～22:00

■ 場所：林中央公園

■ 主催：ライティングベル実行委員会

■ 共催：(一社)能登川地区まちづくり協議会



本物とのであい ～ 集い、聴き、歌い、学ぶ ～

音楽鑑賞会 びわ湖ホール声楽アンサンブル公演開催

—まちづくり事業部・施設運営事業部共同事業—

■ 日時：平成30年11月8日(木) 14:15～15:15

■ 場所：能登川コミュニティセンターホール

能登川地区4小学校の6年生210名と一般のかたが約190名も詰めかけ盛況でした。

学校間や地域の人々との音楽を通じた交流の場を、今後も提供していきたいと思ひます。



フラ輪—プロジェクト <花でつながる地域の輪> ～ 能登川中学校生徒会美化活動 ～



JR 能登川駅西口で能登川中学校生徒会23名が、11月28日(水)担当しました。

JR 能登川駅東口で能登川南小学校6年生が、12月3日(月)活動の予定でしたが、雨天のため、大人たちが代りに作業を行いました。

両日で花壇用ポット38基に、夏秋を彩ったベゴニアから冬を越す色とりどりのパンジーに植え替えしました。

■ 協力：地元有志・(一社)能登川地区まちづくり協議会環境事業部・東近江市能登川支所

発行日：平成31年2月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793 (平日のみ) FAX : 0748-42-1556

E-mail : notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

平成30年度 自主防災活動成果発表会

- 日時：平成30年11月16日(金) ■場所：能登川コミュニティセンター研修室 ■参加：26自治会 63名
■主催：(一社)能登川地区まちづくり協議会 安全・安心事業部
■内容：1. 台風20・21・24号のアンケート結果報告
2. ハザードマップが示す浸水位の確認
① 愛知川の氾濫の場合 ② 琵琶湖増水の場合 ③ 100年確率大雨の場合
3. 自治会活動報告
① 2階への避難…長勝寺自治会 ② 防災訓練…垣見町自治会



以上の内容で発表会は行われました。

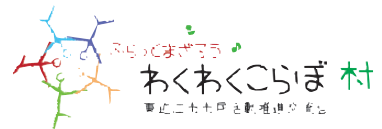
平成30年に襲来した3つの台風の特徴を踏まえた問題点が提示されたほか、活発な防災活動を行っている自治会事例が発表され、出席した各自治会の役員さんは、いずれも真剣に聞き入っておられました。

*まちづくり協議会に防災士誕生！

今堀嘉一、福井清和、山下真吾、今井陸之助の4氏が、日本防災機構の「防災士」認定試験に合格しました。

「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞

「猪子山森林再生プロジェクト」が「優秀賞」



「能楽を楽しむ「能装束着付実演と能」」が「入賞」

- 日時：平成30年12月1日(土) 10:00~15:30
■場所：東近江市市民活動推進交流会わくわくこらぼ村(ショッピングプラザピア4階)
■主催：東近江市市民活動推進委員会、東近江市、認定NPO法人まちづくりネットワーク東近江

【受賞内容】

「優秀賞」は、能登川南小学校5・6年生が「ふるさと学習」や「自然体験」で使っている学校近くの「地域の里山」である「猪子山」を、繁茂した竹林からどんぐりの実る森林に再生する里山整備活動で、平成19年から県立八日市南高校花緑デザイン科の生徒たちと実施しています。(一社)能登川地区まちづくり協議会歴史・文化事業部や、猪子町自治会が協力しています。

「入賞」は、日本の伝統文化である「能」の鑑賞機会を提供するため、「滋賀能楽文化を育てる会」(会長 出路敏秀)と(一社)能登川地区まちづくり協議会施設運営事業部が連携して、能登川中学校3年生(約230名)を毎年招待し、市民に日本の伝統文化である「能」の鑑賞機会を提供するために行っている事業で、地元「近江の麻」を使った舞台背景は毎年注目です。



第9回

市民公開講座

〈能登川病院情報〉

テーマ 学ぼう！身近な病気！～目・肝・心～

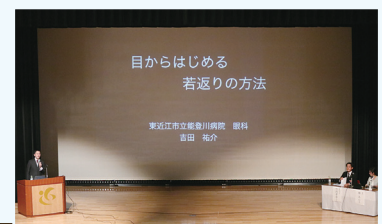
- 日時：平成30年12月9日(日) 13:00~15:30 ■場所：能登川コミュニティセンターホール ■参加者：約230名
■主催：(公財)滋賀県私立病院協会ほか ■後援：東近江市 日野記念病院 湖東記念病院 能登川病院ほか

今回は、吉田祐介氏(市立能登川病院眼科部長)が、「目からはじめる若返りの方法」と題し、目のチカラの回復は、若返りをもたらす生活レベルの向上に繋がると講演され、楊孝治氏(近江八幡総合医療センター消化器内科部長)が、「見つければ防げる！治せる！肝臓の病気～検査と最新の治療～」で、C型・B型肝炎検査と患者に対するバックアップ体制の現況を説明されました。

最後に浅井徹氏(滋賀医科大学医学部付属病院心臓血管外科教授)の、「最高水準の心臓血管外科治療への挑戦」をテーマに特別講演も行われ、最新の「バイパス手術」や、高度な医療による救命の実際を丁寧に講演いただきました。

あいさつと総合司会は、竹内孝幸氏(市立能登川病院長)が務められました。

質問コーナーも設けられ、聴く側にわかりやすく気軽に参加できる講座として、年2回開かれております。次回にご期待ください。



■能登川病院をよくする会

能登川のむかし話

【シリーズ8】

池から出た阿弥陀さまの村

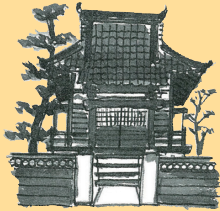


むかし、わしらの村は、大洲村というて、阿弥陀堂といわなんだ。愛知川の下流で、琵琶湖に流れる水といっしょに土砂がぎょうさん積ってなあ、大きな洲ができてたんで、大洲村というてたんや。

今から四百年位前のことや。村の中に堂ヶ池と言つ池があつてなあ。

ある日、お百姓さんが一日の野良仕事を終えて、家へ帰ろうとして、その池のところまでくると、水面が美しくかがやいてるんや。不思議に思つて、近くにいた数人のお百姓さんと呼んで来て、みんなで池の中を探してみると、大きい、それはみごとな仏さんが出ておいでになつたんや。みんなびっくりしてしもつてなあ。さっそく、その仏さんのお堂を建てて、おまつりするようになった。

その仏さんが阿弥陀さんやつたんで、近在の人々はいつしが、「阿弥陀さんのお堂のある村」というようになり、それが字名になつてしもつたんや。



出典：「能登川のむかし話」

昭和55年能登川町教育委員会



楽しく共同作業

手作り教室開催

～ 家族の絆、親子の繋がりを確認 ～

- 日時：平成30年11月23日(金・祝) 9:00～12:00
- 場所：能登川コミュニティセンター
- 参加者：子ども40名 保護者・スタッフ約30名
- 主催：能登川地区子ども会指導者連絡会

干支(亥)を題材にした切り絵や箸・竹・木片を使った組立作品(ランプシェードなど)を制作し、子ども芸術展(裏面に記載)に展示しました。

*この事業は、「赤い羽根共同募金助成金」による事業です。



能登川地区 観光ボランティアガイド募集中!

東近江市観光ボランティアガイド協会 能登川支部の設立に向けて、能登川地区の歴史や自然などを紹介する観光ボランティアガイドを募集しています。

能登川地区を訪れる人に「ふるさとの魅力」を伝えてみませんか?

能登川の魅力を伝えましょう!



問い合わせ

東近江市観光ボランティアガイド協会
事務局：(一社)東近江市観光協会
TEL 0748-29-3920 FAX 0748-29-3922

能登川ふるさとクイズ

Q 安土城以前の城郭であるが、進んだ技術の石垣を見ることができ観音寺城防御の支城として、六角氏の重臣後藤氏が城主とされています。この城郭の名称は何でしょう。



- ① 佐生日吉城
- ② 伊庭山城
- ③ 北須田山城

*クイズ解答は、2ページにあります。

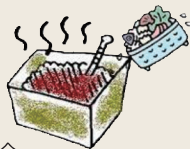
地域のイベント

能登川コミュニティセンター

段ボールコンポスト講習会

時 3月9日(土) 10:00～11:00 無料

主 関 (一社)能登川地区まちづくり協議会
IP 050-5802-2793



第19回 元気のつどい

時 3月2日(土) 9:00～12:00 無料

- ◆ テーマ：楽しく動いて運動習慣を身につけよう!
- スタンプラリーでプレゼントGet!!
- 「減塩豚汁」の試食あり。

主 関 (一社)能登川地区まちづくり協議会
IP 050-5802-2793



やわらぎの郷公園

第4回 まち協グラウンドゴルフ大会

時 3月23日(土) 8:30～

無料

○ 受付：2月12日(火)～ 3月11日(月)

○ 定員：192名(先着順)

* 所定の申込書にご記入の上、お申し込みください。

主 関 (一社)能登川地区まちづくり協議会
IP 050-5802-2793

みなさんのご参加をお待ちしています。
いっしょに楽しみましょう



※記号の説明：時=日時 料=費用 申=申し込み 問=お問い合わせ 主=主催 共=共催 賛=協賛 力=協力 援=後援

コンポスト(東近江市民 500円) ◆ ちょこっとバス・タクシー券(回数券・一日乗車券・一箇月乗車券)

のとがわコミセンだより

平成30年度 能登川地区子ども芸術展

- 日 時：平成30年11月30日(金)～12月2日(日)
- 来館者：延べ5,200名
- 主 催：能登川地区子ども芸術展実行委員会
(事務局：コミセン)

毎年恒例の能登川駅前そびす講に合わせ、発想豊かな子どもたちの絵画・書・立体作品の数々約2,000点をホールに展示しました。

暖かな週末、特に日曜日は晴天に恵まれ多くの来館者で賑わいました。



コミセン講座

癒しの灯り、竹灯籠づくり講座

- 日 時：平成30年11月14日、11月21日、11月28日 毎週水曜日 全3回
- 受講生：10名 ■講 師：橋村 新一氏 (工房 SHIN 主宰)

心に癒しと安らぎをあたえる暖かな灯り… 繊細な細工に魅了される竹灯籠。

自分の手で一度作ってみたいと、初心者対象で開講しました。初めは、ルーターや糸鋸の刃などの工具の使い方にも慣れず、四苦八苦しながらの作業でしたが、彫りがすすみどんどん形になってくると時間がたつのも忘れ、みなさん作業に熱中。

ひとりひとりに合わせて講師の方の手直しやアドバイスもあり、完成度の高い作品が出来上がりました。自分で作った満足感と、自分にもできたという喜び、「これからの趣味が見つかった」と、非常に好評でした。



第7回 能登川水車塾

ハーバリウムづくり

- 日 時：平成30年12月13日(木)
- 受講生：50名
- 講 師：萩原 千尋氏 (L'ABEILLE Atelier CHIHIRO 主宰)



ボトルの中に花の魅力を閉じ込めた話題の植物標本「ハーバリウムづくり」に挑戦しました。

プリザーブドフラワーやドライフラワーの花々を葉やドライフルーツなどのアクセントを散りばめながら、ウイスキー型のボトルに入れて専用のオイルで満たしました。

受講生は、花材の配置を工夫しながら液体の中でゆらゆら揺れる色鮮やかな作品を仕上げました。